

# 施策評価シート【重点施策】

## 個別施策Ⅲ－（２）

### 高齢者の健康づくりを支援する

#### 基本的な方向性

高齢期になっても介護を必要とせず、健康な心と身体を維持できるような取組を実施します。また、早期から自分の身体に対する関心を高める取組を行い、心も身体も健康な状態を維持できるような取組を進めます。

#### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	単位	実績値					31年度 目標値	進捗 状況
		計画 策定時	27年 度	28年 度	29年 度	30年 度		
健康チャレンジリーダー養成者数【累計】	人	—	18	44	73	96	100	A

#### 施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・健康増進や介護予防の意識向上や知識の習得を図るため、健康教室や健康チャレンジリーダー養成講座の開催、通いの場（サロン）の開催支援を実施したほか、フレイルチェック測定会やフレイル改善教室などによりフレイル対策を推進しました。
- ・認知症の予防、重症化防止のため認知症予防教室の開催や認知症初期集中支援チームによる対応を行いました。
- ・特定健康診査の結果から糖尿病の重症化の恐れのある方を抽出し、家庭訪問や集団指導によって生活習慣の改善を図り、さらに血液検査でその効果を測定しました。7割以上の参加者が糖尿病の指標であるHbA1cの値に改善が見られました。

## 施策を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・自身の老化現象に気づかずに、介護予防対策をしていない高齢者がいるため、「気づき」と予防や改善に向けた「行動」を促す必要があります。
- ⇒専門職種による健康教室や健康相談の開催を推進するほか、栄養・運動・社会参加の3つの観点から、高い専門性をもって、高齢者に「気づき」と予防や改善に向けた「行動」を促す、フレイル予防（加齢による機能低下の予防）に関する事業を推進します。
- ・認知症に対する予防策の普及や実践、重症化しないための早期対応や相談支援を行うことが必要です。
- ⇒「認知症予防」「重症化防止」の観点から認知症予防講座の開催や認知症地域支援推進員及び認知症初期集中支援チームによる早期診断・早期対応を推進します。
- ・生活習慣病の発症予防やがん予防を含めた重症化予防に繋げるため、がん検診や特定健康診査の受診率向上を図る必要があります。
- ⇒受診の必要性について、普及啓発を行うとともに、未受診者には医療機関を通じた受診勧奨や機会を捉えた意識づけなどを実施します。

## 関連する【取組】と（事業）

【地域で楽しく健康長寿に向けたチャレンジ】（一般介護予防事業）

【早期から健康意識を高め、高齢期になっても健康な身体の維持】（健康増進事業）